

製品名: MyD88 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14274**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、その他
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	MyD88
別名	MYD88; Myeloid differentiation primary response protein MyD88
遺伝子 ID	4615.0
SwissProt ID	Q99836
免疫原	抗血清はヒト MyD88 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

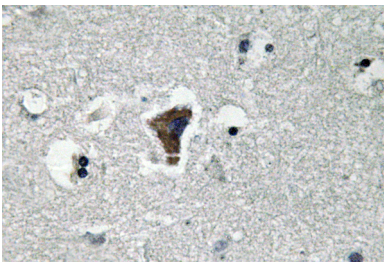
この遺伝子は、自然免疫応答および獲得免疫応答において中心的な役割を果たす細胞質アダプタータンパク質をコードしています。このタンパク質は、インターロイキン-1 および Toll 様受容体シグナル伝達経路において重要なシグナル伝達因子として機能します。

これらの経路は、多数の炎症誘発遺伝子の活性化を制御します。コードされているタンパク質は、N末端ドメインとC末端 Toll-インターロイキン-1 受容体ドメインで構成されています。この遺伝子に欠陥のある患者は、化膿性細菌感染症に対する感受性が高まります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年2月]、疾患: MYD88 の欠陥は、MYD88 欠損症 (MYD88D) [MIM:612260]の原因です。MYD88 欠損症は、MYD88 欠損症による再発性化膿性細菌感染症とも呼ばれます。患者は常染色体劣性遺伝性の、生命を脅かす、しばしば再発性の化膿性細菌感染症 (侵襲性肺炎球菌感染症など) に罹患し、生後 1 か月から 11 か月の間に死亡します。生存患者はその他の点では健康で、他の微生物に対する抵抗力も正常であり、臨床状態は年齢とともに改善します。機能:自然免疫応答における Toll 様受容体および IL-1 受容体シグナル伝達経路に参与するアダプタータンパク質。IRAK1、IRAK2、および TRAF6 を介して作用し、NF- κ B 活性化、サイトカイン分泌、および炎症応答を引き起こします。IL-8 の転写を増加させます。骨髄分化に参与している可能性があります。類似性:デスドメインを 1 つ含みます。類似性:TIRドメインを 1 つ含みます。サブユニット:ホモ二量体。TIRAP とヘテロ二量体も形成します。それぞれの TIR ドメインを介して TLR2、TLR4、IRAK1、および IRAK2 に結合します。IL1RL1 と相互作用します。組織特異性:普遍的、

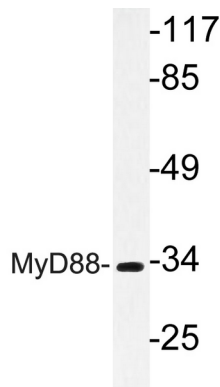
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Toll のような;

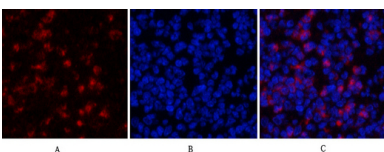
画像データ



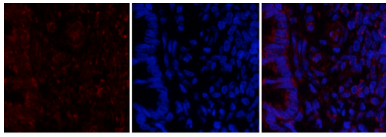
パラフィン包埋ヒト脳組織における MyD88 抗体の免疫組織化学分析。



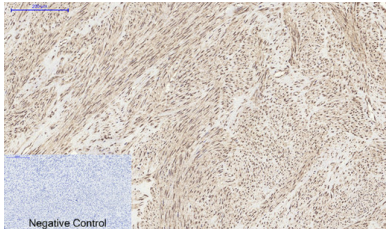
MyD88 抗体を使用した COLO 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



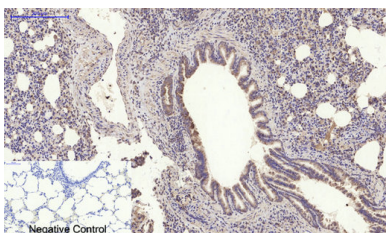
マウス脾臓組織の免疫蛍光染色。1, MyD88 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



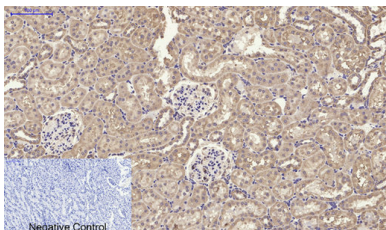
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, MyD88 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



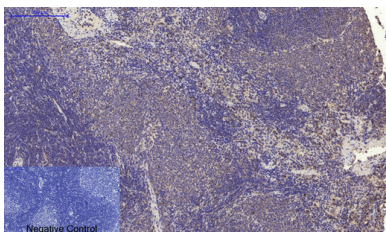
パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. MyD88 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



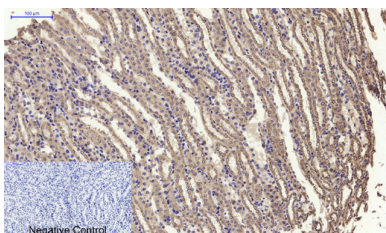
パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. MyD88 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学染色。1. MyD88 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学染色。1. MyD88 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学染色。1. MyD88 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。